202012FOMC

資産購入の継続期間に関するガイダンスを変更

”until substantial further progress has been made toward the Committee's maximum employment and price stability goals.”「最大雇用と物価安定に向けて大幅にさらなる進展がみられるまで」

前回議事録で「アウトカムベースの定性的ガイダンス」への変更が支持されていた

これまでの「今後数カ月」と比べて、かなりの長期化を示すガインダンスへ

前回議事録では利上げまでに資産購入を減速・停止する方針に多くの支持が集まっていたが、今回の声明文では金利政策との関連性は示されなかった。時期尚早、フレキシビリティーの確保、との判断とみられる

経済見通し

成長率

FRB:2020年-2.4%,21年4.2%,22年3.2%,23年2.4%

MHRI:2020年-3.0%,21年3.7%,22年3.5%,23年3.2%

失業率は2023年末には3.7%と、4％を割り込む

FRB:6.7%->5.0%->4.2%->3.7%

MHRI:6.8->5.9%\_>4.9%->3.9%

インフレ率は2023年末に2%に到達

ドットチャート

2023年末でも17人中、12人が金利据え置き

9月見通しと比較して2022年の利上げ派は１名で変わらず、2023年の利上げ派は4名から5名と1名増加

しかし、2022年の利上げ幅は2回から1回へ引き下げ

2023年についても、もっともタカ派の予想が1.25-1.50%から1.00-1.25%に引き下げられている

「完全雇用、インフレの2％到達と、緩やかに2％を上回る」という利上げのガインダンス達成のハードルの高さが改めて認識できるハト派の内容

Q&A

経済動向の評価とリスク

経済動向はある意味では予想通りということになります。私たちが懸念しているのは、下振れリスクです。それは、病気がさらに拡大するリスクと、家計のバランスシートに蓄積された貯蓄を使い果たしてしまうリスクです。しかし、現在までに見られるのは、継続的な成長、継続的な拡大ですが、そのペースは徐々に緩やかになってきています。

経済のための更なる財政支援のタイミング、規模、構成要素を決めるのは明らかに議会に委ねられています。そして私は、CARES法によって提供された支援は、これまで見てきた回復を支援する上で絶対的に不可欠であり、一般的に予想を上回っていると言いたいと思います。そして、それは可能性のある出来事だと思います。金融政策と財政政策には更なる支援が必要となるでしょう。先ほど、私たちが直面している2つのリスクについて述べましたが、これらのリスクは、財政政策を強化することで十分に対処できるでしょう。1つは、ウイルスのさらなる拡散、もう1つは、CARES法の給付金の失効と、人々のバランスシート上の貯蓄が減少していくことです。

私たちは、あらゆる外的要因を含めて、経済をあるがままに受け止めるつもりです。リーマン後、財政はとても緊縮的だった。もしもう少しでも拡張的であれば、回復は早かったはずだ

私たちが懸念していたテールリスクは明らかに沈静化しています。（中略）最初の5、6ヶ月間は予想以上に順調に推移していますが、ヨーロッパでの状況を見てみると、寒さが来て室内にいる人が多くなるにつれて、ヨーロッパでは患者が急増していることがわかります。

追加緩和

QE3が行ったのと同程度のデュレーションリスクを民間の手から取り除くことができました。（中略）今日は、量的緩和の選択肢についても十分に議論しました。量的緩和ではなく資産購入プログラムですが、資産購入プログラムのパラメータを調整して、適切であると判断された場合には、より多くの緩和を提供できるようにする方法を我々は理解しています。今のところ、この非常に大規模で効果的なプログラムは、適切な量の緩和と市場への支援を提供していると考えています。そして、それは継続されています。

我々の話題は、当初は救済と快適さを提供すること、次に景気が拡大に転じた時にサポートを提供すること、三つ目が長期的に経済にダメージを与えないようにすること。私たちは声を大にして言ってきたと思います。私たちは、これからもそれを続けようとしています。現在のようなエピソードをできるだけ短くして、不必要な企業倒産や、不必要な家計の倒産、不必要な長期失業を避けるために、あるいは、人々が経済的な基盤と生活を維持し、生産的な方法で仕事に復帰できるように支援するために。

金融政策は力尽きたのか、それとも弾薬が尽きたのか、ということだと保守的に受け止めていますが、その答えはノーです。

（追加緩和の方法について）私たちが理解しているのは、 構成や期間、規模、 プログラムのライフサイクルを 変えることができるパラメータが いくつかあるということです。今のところ、私たちは...プログラムが提供している緩和の量で良いと判断している。いつかの時点で、追加緩和が必要という局面に直面するかもしれない

気候変動

気候変動を金融規制の考え方に取り入れる科学と技術は比較的新しいものです。私たちは、その初期の段階では非常に積極的に取り組んでおり、スピードを上げ、中央銀行の同僚や世界中の同僚と協力して、これが私たちの枠組みの一部になるように考えています。また、他の国が何をしているかを見ています。

コイン問題

この世界では多くの支払いがデジタルで行われていますし、コインや通貨は比較的低所得者にとって非常に重要なもので、支払いシステムの中で非常に重要な部分です。コインの供給量を増やすために一生懸命働いていますし、それ以上にシステム全体のコインの分配量を増やすために働いています。

１３（３）の機能

今年、地方自治体市場で起こった融資の量は、前年よりもはるかに多くなっています。私たちはそれをしませんでした。融資をしたのはごく少数です。しかし、私たちがバックストップとしてそこにいるという事実だけで、民間の関係者が協力して、市場を再び活性化させることができるように思われます。それが１３-３の目的です。